

2023 年 10 月 21 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

いつも『神聖で繋がり合う日』にご参加下さり有り難うございます。今回は『人間と真実の生き方』を実行するうえでの一番の基本である【本心と業想念の截然たる識別】について再確認をしながら、それがそのまま【すべてを俯瞰する神聖の視座】に直結した最短のコースであることを確認してまいります。

その前に私達が認識しておきたいことは、“本心と業想念の截然たる識別”は、私達の意識が四次元領域から五次元領域へ深化してゆくうえで欠かすことのできない必須要素であり、悟りの道を切り開き神我一体感を深めてゆくうえでも基礎中の基礎項目であるということです。

それを踏まえて、“本心と業想念の截然たる識別という基本認識”を身に修めている場合とない場合で、【消えてゆく姿で世界平和の祈り】という私達の基本的生き方にどれほどの違いが生じるのかを観てまいりたいと思います。

それを端的に思い浮かべるには、的へ向けて矢を射る弓道の様子をイメージするとわかりやすいと思います。本心と業想念の截然たる見分けがつかない状態で、「あれは消えてゆく姿」「これも消えてゆく姿」と思いながら、なんでもかんでも世界平和の祈りに投げ入れるような精神状態は、目隠しをしてめくらめっぽうに矢を射る状態と同じで、的に当たるのは何千回か何万回に一回のまぐれ当たりのみになってしまうことに例えられます。

それに対して、本心と業想念の截然たる識別をしながら「嗚呼、この想いが消えてゆく姿なんだなあ。守護霊様、こうして現わして消してくださってありがとうございます。世界人類が…」と行なっている場合は、しっかりとした正しいフォームを身に付けた状態で、無我無心な心境で矢を射る状態でありますことから、仮に中心に当たらなくともほぼ百発百中の確率で矢を的に当てることに例えられます。

ここで覚えておきたい大切なことは、本当の消えてゆく姿とは、「自己の心に張り付いた思い込み・こだわり・決め付け・独りよがりな正義感などの把われの想い」のことであり、自分や他人の行為や社会の有り様ではないということです。

地球全体や国内の社会状況や自他の言動行為というものは、ひとりひとりの本質的な消えてゆく姿を基に撮影した映画フィルムが上映されている状態だといえます。言い換えればそれは、すでに撮り終えた映画を、肉体界という映画館で上映している状態であります。肉体界の様相というものは、その場の巨大スクリーンのなかの動きであり、本当の私達の意識はスクリーンのなかにはおらず、上映されている映画を神界という客席で観ているのであります。

その事実を心の底から腑に落ちた状態で「あっ、そうかぁ」と思えたなら、今どんな心境の人もその刹那に意識が神聖の視座へと次元上昇します。そして、「今」だと思っていた現象面がすべて過去の現われであり、「本当の今」というのが、「一瞬一瞬における自己の意識の運用（瞬々刻々における私達の意識の使い方）」そのものであったことを得心するのであります。

土曜日の夜はそのように、本当の今を知り、本心と業想念の截然たる識別を縁として神聖の視座に立ち、過去の映像である現象面の様相を批判・非難・評価せずに無言で抱きしめ慈しんでまいります。それは、創造者の視点に立って本来の世界を共同創造してゆくことであり、暗い現実の奥で出番を待っている明るい未来を今ここに書き出すことに繋がってまいります。

2023 年 10 月 21 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話

皆さま、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。本日は、初めに全体の進行について説明します。初めに、今から 15 分くらいお話しします。そのあと世界平和の祈りを行い、ワンネスのメディテーションをして、すぐに神聖復活の印、七回を三セット行ってまいりますので、よろしくお願いします。

「“消えてゆく姿、世界平和の祈り、消えてゆく姿、世界平和の祈り“とやっているけれど、なかなか消えないのです」というお話を時々伺うことがあります。本日はそういった悩みをお持ちの方が、その悩みを解消して、“消えていった実感”を掴める日にしてまいりたいと思います。

案内メールのなかで、本当に消えてゆく姿にしてゆかなければならないのは、自分自身の把われの想いであって、他人の言動行為や社会情勢などの現象面ではないと書きましたが、そのことについて一つ身近な具体例を挙げますので、ご自分の身に振り替えてお聞きください。

例えば、自分がどうしてもある人物の言動に嫌悪感を抱いていて、ことある毎にそのことを思い出しては気持ちが曇ってしまって、なかなか心が晴れないでいるとします。そのようなとき、たいていの場合、「悪いのは相手のその人だ」と思い、“自分に原因があるとは認めたくない“と思うのが一般的ではないでしょうか。

そのようなケースでは、その“把われの想い”を手放すのが一番なのですが、そう言いますと、話を聞いた方は、「そんなこと言うけど、どうやって手放せばいいのさ」と言われます。

それは、心が曇る原因がわかっていなくて、「相手が悪い、相手が悪い」と一方的に思い込み、そうとしか思えない状態になってしまっているからです。そのような場合は、「人に感じたことは自分の中にあることであり、自分の中に原因がないことは思うこともないのだ」ということをお勧めします。

いつも申します通り、他人という存在は、自分のなかに潜んでいる消えてゆく姿に気付かせてくれる鏡です。本当は他人が何をしたところで、相手のしたことがいいことでも悪いことでも、自分が相手の動きに触れて何かを思ったなら、そう思った自分自身にそう思うだけの種があった、原因があったということで、それ以外の何ものでもないのです。

例えば現在進行形で短気な人に「うん、あなたの欠点は短気なところよね。その癖、直さないと損するわよ」と言ってみてください。99%以上の確率で相手は腹を立てます。しかし、その人がすでにその心境を卒業している、もしくは卒業しかけている場合には、「うん、そうだね。俺にはそういうところがあるかも知れないから気をつけるね」、と拍子抜けするような反応を返してきます。

人にどんな諫言をされても、たとえ罵詈雑言を他人から浴びせかけられたとしても、まったく心が波立たなかったという経験をしたことはないでしょうか？また、子育てをしているときに、子どもがむずかってどんなにあたってきても、子どもの状態がわかるからただ可愛いだけで、「しょうがないなあ」とは思うけれど腹立たしくはならない、という経験をしたことはないでしょうか？それは、自分の内(なか)に引っ掛かる種・原因がない状態です。

人の心は、自分に原因のないことでは、感情が乱れない仕組みが標準装備で組み込まれています。です

から、他人や社会に何かネガティブな感情を抱いたとしたなら、その原因は必ず私達自身にあります。またそのとき、私達の守護霊様は、私達が卑屈にも高慢にもならず、謙虚に自分の神聖を認めることができるよう導きながら祈られています。そして、他人の言動に対する反応を引き金にして、消えてゆく姿であるところの偏った想いが現われるように段取りをして、私達に把われの想いを手放すチャンスを与えてくださっています。

『消えてゆく姿で世界平和の祈り』をするときに、そのように自分の中にいる被害者と加害者の不和が原因で発生している想いの一酸化炭素で中毒になった自分を丸ごと守護霊様にさらけ出して、「こうして現わして、手放す機会を与えてくださってありがとうございます」とか、「こうやって現わして消してくださってありがとうございます」と、ひたすら守護の神霊への感謝の想いを繰り返してみてください。そうすると、守護霊様は必ず、私達の成仏していない想いの癖達を成仏させてくださいます。

そのように、人に感じた想いを自分に向け直す練習を瞬々刻々、うまずたゆまず続けてまいりますと、どんな想いの癖を持っていた人でも必ず変わります。コツは“ひたすら行なう”ことで、それをうまずたゆまず、瞬々刻々、諦めず、粘り強く行ない続けることです。

本気になりさえすれば、ただ思っていただけの希望に近づくための行動を起こす自分に変わります。行動を起こせば必ず結果がついてきます。私もそうでしたが、多くの場合、人は何度も過ちを繰り返して、お尻に火が付いてから初めて人格向上に取り組み始めます。しかし、もしもそうなる前に意識の進化向上に手をつけたなら、たいした苦勞をすることもなく、知らないうちに変わっていたということになります。

それから、“消えてゆく姿“という言葉尻に引っ掛かって「消えない」「消えていない」と思われる方は、「消えてゆく姿」という言葉を、「手放してゆく姿」と置き換えて思ってください。そうすると、「消えない」のではなく「手放さない」、「消えていない」のではなく「手放していない」という事実につづきます。

また”消えてゆく姿”は、自分が消すのではなく、守護霊様が消してくださるものです。現わしてくださるのも守護霊様なら、手放させてくださるのも守護霊様です。ですから、”消えてゆく姿”ではなく“消していただいている姿”と思うようにするのも一案です。

守護霊様はそのような私達の心境の変化や、本質に繋がる気付きを見逃さずに、そのとき守護神様の力を借りてくださり、ひととき強く神聖の自覚を促す光を肉体の脳髄に流し込んでくださって、ネガティブな脳内シナプスの繋がりをほどいてくださいます。ちなみに、シナプスというのは、脳内の情報と情報を繋ぐ配線のようなものです。

そのような観点から見てゆきますと、『“消えてゆく姿“というのは、“記憶を手放してゆく姿“であり、如何にして記憶への把われの想いを手放してゆくか、ネガティブなシナプスの繋がりを如何にしてほどき、神聖のシナプスの繋がりに組み直してゆくか』であることがわかってまいります。

今日、私達は、今まで本気で手放そうとしてこなかった思い込みやこだわり、決め付けや執着、独りよがりな正義感などを、皆様の神聖復活の印から放射されるすべてを調和させる大光明の力を借りて、パッと想いの手を放し、文字通り消えてゆく姿にしてみたいと思います。あれもこれもと欲張る必要はありません。何か一つでけっこうです。一回でも出来た体験があれば、これからの日常生活の

中でもそのやり方を使って、同じことが出来るようになるからです。

神聖復活の印を組むときに、回転する地球を見ながら、地球にかかわるすべての状況をよく見ていてください。そうすると、様々な想いが脳裡をよぎっていることがわかります。それらを俯瞰の立場から観察して、何を思ったとしても流れる雲を見送るように見つめながら、本日も『宇宙を創り運行している大いなる光』と私たちの肉体エネルギーをブレンドしたいのちの光を、唯々放ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。三分半の CD を使って行ないますので、眼を閉じて神聖の視座に焦点を合わせてお祈りください。私が「はい、ありがとうございます」と申し上げましたら目を開けてください。それでは始めます。